

# 教育部会

## 令和3年度 活動報告



地域サポートセンター 仲よし  
川口 芳美

## 【活動目的】

- ①特別支援学校高等部3年間で、福祉制度等の必要な情報提供と相談窓口へのつなぎを行う。
- ②学校間(市と県、小・中・高)の連携、および教育と福祉の連携を深めると共に、地域ごとに児童・生徒を支えていくための仕組みづくりを行う。

## 【開催】

2カ月に1回 旭川荘にて または オンラインにて

## 【活動内容】

- ・教育部会の活動方針の見直し、検討を行う。
- ・教育と福祉の連携における課題について、個別支援よりも大きな枠組で捉えて検討する。検討した結果を関係機関で共有する。
- ・部会同士の連携、他機関への働きかけを行う。

## 【構成員】

- ・旭川荘療育・医療センター顧問
- ・岡山市障害福祉課
- ・岡山市教育委員会
- ・岡山県教育庁特別支援教育課
- ・特別支援学校 8校（岡山市に所在地がある学校）
- ・相談支援事業所 4ヶ所（各地域部会より）
- ・岡山市障害者基幹相談支援センター



## 令和3年度から活動内容や構成員を変更

⇒会議と研修のうち、会議に重点を置いて実施したこと、構成員を縮小したことで、議論しやすくなったり、課題解決に向け新たな取り組みを実施することができた。

# 令和3年度の活動報告

- 5月7日 コアメンバー会議 **今年度の教育部会の実施体制、内容を検討**
- 5月18日 コアメンバー会議 上記についての案を行政と共有
- 6月15日 第1回 今年度の活動計画および支援学校行事の確認  
教育と福祉の連携における課題の抽出
- 8月17日 第2回 教育と福祉の連携における事例検討  
**教育と福祉の連携に関するアンケート調査について**
- 12月22日 第3回 移行支援会議について  
**教育と福祉の連携に関するアンケート調査の結果共有**
- 2月18日 第4回 移行支援会議の反省  
今年度の振り返りと来年度に向けて

# 令和3年度の活動実績

## 1. 教育と福祉の連携における課題の検討

### ①教育と福祉の連携における事例検討

支援学校で関係機関と連携をとっているケースの紹介、連携方法を共有した。

### ②教育と福祉の連携に関するアンケート調査

11月にワーキンググループを立ち上げ、アンケートを作成、配布した。

対象は特別支援教育コーディネーター(支援学校)、相談支援専門員、  
児童発達支援管理責任者(児童発達支援、放課後等デイサービス)

⇒家庭と教育と福祉の連携「トライアングル」プロジェクトに取り組もう！！

# アンケート結果から見えてきたこと・・・

## 学校側

連携して情報共有できたり、  
共通理解ができて良かったなあ

制度のことや障害特性  
をもっと知りたい！

生徒もだけど家庭  
のことも心配・・・



## 福祉側

誰にいつ連絡したらいいんだろう？  
校長先生？担任の先生？

学校での様子、療育で  
の様子を共有したい！

私たちの役割も  
知ってほしいなあ



アンケート調査の結果は「え～んじゃネット」に掲載します

# 令和3年度の活動実績

## 2. 支援学校関連行事について

- ・福祉制度説明会(高1、支援学校職員)・地区別懇談会(高2)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、**オンラインで開催した。**  
地区別懇談会では新しい資料(フクセツ)を使用して好評だった！
- ・生活介護事業所説明会は**中止した。**
- ・移行支援会議(高3)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、**オンラインで開催した。**

移行支援会議について、実施後に行政から、移行支援会議の在り方の見直しをした方がいいのではないかという意見が出た。

⇒令和4年度に学校側、福祉側の意見も集約して検討することにした。

# 令和3年度の活動実績

## 3. 教育と福祉の連携を深めるための研修会

令和3年9月2日 オンラインで開催

テーマ 『相談員と支援学校との連携における課題とニーズ把握』

移行期において、相談支援専門員や支援学校の先生が感じている課題やニーズを共有し、自分たちにできることを考えた。

## 4. 医療的ケア児の支援に関する検討

医療的ケア児が安心して暮らしていくための支援を協議するWGに部会から参加し、学齢期の医療的ケア児の課題を検討した。